

指定管理者制度導入施設における指定管理者の評価結果一覧（令和7年度）

施設名	指定管理者	所管課	総合評価	評価内容
野馬追通り銘醸館	（一社）南相馬観光協会	観光移住課	B	イベント等に伴う貸館利用、小中学校による学習目的での利用に対する受け入れ、イベント実施のほか、自主事業の見直しとして、食彩庵に対する新たな事業者の導入への取り組みにより、集客力、認知度の向上や魅力の発信に取り組んだことから、総合評価をBとした。
道の駅南相馬・南相馬市サービスエリア利活用拠点施設	（株）野馬追の里	観光移住課	S	入れ込み客数は年度の目標値を上回る164万人を超え、売上高も昨年度と比べ約105%となり、いずれも高い水準を維持している。物産販売では、地域の商品を中心とした品揃えの充実に加え、施設の有効活用として周年祭や季節に合わせた交流イベントを通年で実施するなど、顧客満足度の向上に努めている。 職員研修や福利厚生の実施から従業員満足度の向上により利用者へのサービス及び企業利益の向上を目指す経営モデルを体现することで、顧客満足度の向上が図られている。アンケート結果においても、接客等に関して好評価を得ている。 財務状況も、十分な資金力を有しており、経営の健全性も良好な状態であると評価される。このため、今後の安定した経営と将来性が期待できることから、総合評価をSとした。
南相馬市大町地域商業施設	（有）ニシノ	商工労政課	B	利用者の要望に沿った品揃えの実施や、他店との差別化を図る商品（「にしき食品」のレトルト食品、毎月新商品を出す焼きたてパン等）の販売を行う等、魅力的な商品の提供に力を入れており、買物弱者に対しては配達を実施する等の利用しやすい店舗づくりへの努力が見られ、利用者からも好評を得ている。 また、ロボットテストフィールド等の市内施設にAIBODと共同で設置している無人コンビニから、弁当等の注文・配達サービスを継続して販売を続けている。 令和7年度は、昨年度より売上・客数は微増したが、賃金の値上げによる人件費の増加等により経常利益は赤字となったが、本店サイヤと共同で販売促進を進め、おまちマルシェでしか購入できない商品（フォロのドレッシング）等の充実を図り、丁寧な接客や要望への柔軟な対応等、利用者へのサービスを継続している。
南相馬市産業創造センター	南相馬インキュベートコンソーシアム	商工労政課	B	入居事業者のニーズを把握し、細やかな対応をしており、事業者に寄り添った活動が見て取れる。 施設の入居においても、空き区画が出ないよう速やかに入居募集を行っており、高い入居率を維持できている点に加え、新たに飲食及び購買支援を行った点についても評価できる。

指定管理者制度導入施設における指定管理者の評価結果一覧（令和７年度）

				また、年度目標である「入居事業者と市内事業者が連携し協力して製品開発を推進する事業案件に係るマッチングの目標値」については、目標１０件に対して実績８件であったが、管理及び運営において、総合評価の結果、概ね適正であったと認められる。
小高区商業施設	(有) 丸上青果	小高区地域振興課	B	当該施設は、高齢化率が高い小高区において買い物環境を確保するために重要な役割を担っている。また、地域内でのお祭りやイベントへ積極的に協力しているなど、小高区内において重要な役割を担う施設となっており、この施設を運営していることは評価できる。 一方で、収入は、前年度と比較し、利用者数の減少に伴い、売上金額が減少している。支出は、令和７年１月から引き続き日曜日休業したことにより営業日数が減少し、支出額も減少している。収入と支出ともに減少しているが、人件費や仕入れ費が増加したことなどにより、収支が赤字となった。これまで指定管理料を含めると収支は黒字を継続してきたが、令和７年度収支が赤字になったことから、早急に経営改善の必要がある。経営改善にあたっては、経費縮減（支出削減）と合わせて、売上・利用者増加（収入増加）を図るための顧客獲得などに向けたさらなる対策を実施する必要がある。店舗内の品揃え、品質向上、接遇の改善による既存利用者へのさらなるサービス向上に加えて、利用していない者のニーズ把握・分析を行い、速やかに改善策の検討し、店舗での実践が必要である。
かしま交流センター	(特非) かしま元気スポーツクラブ	鹿島区地域振興課	B	利用者が利用しやすく便利な環境づくりを意識した施設の管理運営を行うとともに、地域の団体との連携や支援にも取り組んでいた。特に令和７年度は初めてかしま交流センターまつりを開催し、施設の利用団体の活動を発表する場を提供し利用者に喜んでもらうとともに、利用していない人にも活動を理解し体験してもらう有意義な機会を作った。 自主事業についてもニーズを汲み取った幅広い教室を展開し、その広報活動も積極的に行った。
真野交流センター	(株) 東武	鹿島区地域振興課	B	利用者の要望に沿った施設の修繕や備品の整備、グラウンドや周辺の美化に積極的に取り組まれ、利用者にとって安心安全な施設運営を行っていた。 自主事業においては、バスケットボール教室は依然盛況、健康マージャンのほうも開催数を増やしPRしたことが功を奏し参加者増に繋がった。 今後は当初の計画にあった利用団体との意見交換会の実現や健康手帳配布、より一層の情報発信に努められることを期待したい。

指定管理者制度導入施設における指定管理者の評価結果一覧（令和7年度）

健康づくりトレーニングセンター	(同) R. らいず	鹿島区地域振興課	B	利用者が安心安全に利用できる施設づくりを心掛け、経費節減を意識しながら適切に管理運営を行っていた。 利用者へのサービスにおいては、様々な資格や知識を活かし運動だけではなく栄養、生活習慣の面からもアプローチし、一人ひとりに合わせた包括的対応を実施していた。 また自主事業では、様々な種類の教室を展開し、さらに開催回数を増やし利用者の期待に応えていたことがうかがえる。加えて、ウォーキングイベントを実施し、周辺の施設や地域イベントとコラボレーションするなど地域の活性化にも尽力した。 近年、市内外の団体からの運動教室の依頼が増加していることは、コンテンツとサービスの質の高さが広く認知された結果と思われる。
南相馬市パークゴルフ場	(株) 東武	健康スポーツ課	B	施設の設置目的の達成・サービスの向上に関する取り組みとして、自主事業である月例大会やグランドチャンピオン大会の開催のほか、東武杯の冠を付しオープン杯やペア大会を開催し、利用者の拡大、技術力の向上を確認できる機会を創出したことに加え、とん汁の無料配布、夏場のアイス販売やテント設置などの熱中症対策を実施し、利用者から好評を得ることができた。 施設の適切な管理運営の確保に関する取り組みについては、これまで芝の修繕や管理を行い苦情も顕著に減少してきたところであるが、さらに良い芝にしていこう適切なコース管理を行っていく。 管理経費の縮減に関する取り組みについては、燃料費、消耗品費の節約のほか、自前に対応できることについては直営で実施し、経費削減に努めた。
小高区内スポーツ施設 4 施設	浮舟うきうきクラブ	健康スポーツ課	B	年間の事業計画書に基づき、ホームページ等を活用し市民に広く情報発信を行い、複数の自主事業を行い、施設の有効活用や参加者の健康増進、維持に努めた。 また、施設利用報告書などから、利用者からの要望や意見を管理者全体で把握し、施設の修繕や環境整備、美化に努めた。 物価高騰の影響等による経費増加はあったものの、こまめな節電・節水に努め、コピー等も用紙削減を意識した使用など、自主努力による運営経費削減に取り組んだ。
鹿島区内スポーツ施設 7 施設	(特非) かしま元気スポーツクラブ	健康スポーツ課	B	事業計画に基づき、複数の自主事業を行い、施設の有効活用や参加者の健康増進・維持に努めた。

指定管理者制度導入施設における指定管理者の評価結果一覧（令和7年度）

				また、施設利用報告書や利用者の声などから、要望や意見を管理者全体で把握し、施設の修繕など経費をかけないように工夫しながら環境整備・美化に努めた。 経費削減として、こまめな節電・節水に努め、コピー等も用紙削減を意識した使用などに加え、自前で対応できるものについては、自分たちで対応することとし、管理運営経費削減に取り組んだ。
原町区内スポーツ施設 12施設	太田大甕スポーツクラブ	健康スポーツ課	B	施設の適切な管理だけでなく、自主事業により新たな利用者の掘り起こし、市民の健康増進の機会の提供に努めた。 また、自前の除草・清掃・修繕により、諸経費の削減に努めた。
南相馬市馬事公苑	（特非）はらまち交流サポートセンター	健康スポーツ課	B	馬術競技において、東北馬術大会の開催や新たなウエスタン競技大会が誘致されるほか、全国高校馬術連盟の全国大会、国民スポーツ大会の東北予選大会の申し入れがある等、今後の馬術選手育成の場、大会開催地の期待が高まり、馬術競技の拠点施設としての役割を十分に果たしている。 また、馬術競技以外の施設活用のPRにより、ディスクゴルフ全国大会、ドッグレース全国大会、福島県中学駅伝大会等といった多目的な施設利用を促すことで、入苑者数について目標値を上回っていることに加え、施設維持管理業務においては、出来ることは直営で対応し、低廉な価格での業務委託や物品調達等を行い、経費等の節減に努めていた。
南相馬市民プール	（株）フクシ・エンタープライズ	健康スポーツ課	A	施設効用の最大化を図るための対策として、利用促進事業を計画通り実施し、さらに利用促進事業からステップアップした自主事業の展開により幅広い年代がプールに親しむ機会を創出した。 平等な利用を図るための有効な対策として、県自閉症協会への貸し切り利用の提案など、障がい者にもプールを利用できる機会を提供したほか、令和7年度よりジュニア水泳教室を指定管理者の努力により一コマ増枠するなど、教室利用希望者の受け入れ枠を拡大し、平等な利用の促進が図られたことを評価した。 さらに、子育て拠点施設を指定管理する強みを生かし、合同イベントの開催及びSNSを活用した周知など、相互利用者の拡大に努めた。 また、意見箱やアンケート調査から利用者の要望や意見を把握し、朝礼や終礼でスタッフに情報共有、情報の蓄積や再発防止の取り組みが徹底されていた。管理・運営については、適正な人員を配置し利用者の安全確保に努めた。

指定管理者制度導入施設における指定管理者の評価結果一覧（令和7年度）

南相馬市民文化会館	（公財）南相馬市 文化振興事業団	生涯学習課	B	令和7年度は、福島県との連携スキームを活用した事業展開により、経費の抑制と事業実施の両立を図られていた。 閉館時間の変更に伴う受付期限の運用については、利用者の利便性に配慮した柔軟な対応が評価できる。 また、経費縮減に関しても、支出に占める割合の高い電気料に対し、詳細な調査・検証を開始し、経費縮減の改善に取り組む積極的な姿勢が見られた。
南相馬市健康福祉センター	（株）東武	長寿福祉課	B	設置目的に沿った管理運営がなされている。 給湯設備等の修繕のため全体の利用者数は昨年度に比して減とはなったものの、影響を最小限度にとどめる工夫がみられる。 自主事業についても幅広い事業展開がなされており、特に人気の事業については回数を増やすなど、多くの市民に利用していただくべく創意工夫がなされている。
南相馬市水産業共同利用施設	相馬双葉漁業協同組合	農政課	B	施設利用者（漁業者）の利用のみならず、市内小学校の施設見学の受け入れを継続し、水産業の理解促進にも積極的に取り組んでいることから、施設運営に関し良好と認められる。
小高区子どもの遊び場	（株）フクシ・エンタ ープライズ	こども家庭課	S	季節のイベントや運動遊びなどのソフト事業やSNSによる積極的な情報発信、丁寧な利用者対応等により、目標値である年間利用者 35,000 人を大きく上回る 43,706 人の利用者があった。 また、当初の収支計画を上回る効率的な経営を行ったほか、豊富な知見を活かした遊びの環境向上や機動的なスタッフ配置などを通じ、高い評価や利用者満足度の向上にも寄与した。
原町斎場	（株）相双環境整備セ ンター	生活環境課	A	斎場利用者の意見聴取のためのアンケートを実施し、「とても丁寧に対応していただいた」「落ち着いて安心感がある」など、職員の対応について85%の回答が「大変良い・良い」と好評を得ている。利用者の要望等に対応しているほか、死亡届提出前の電話仮予約の実施など利用者へのサービス向上を図っており、また施設内の環境放射能測定をきめ細かく行っている。 苦情対応について十分な取り組みがなされ、サービスの質の向上させる運営を行っている。